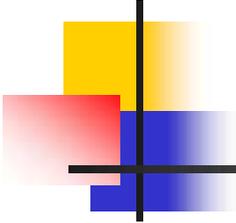


その他の地域のまとめ

NPO法人・言語障害者の社会参加を
支援するパートナーの会・和音

田村洋子



都内3地域（板橋区・武蔵野市・世田谷区）

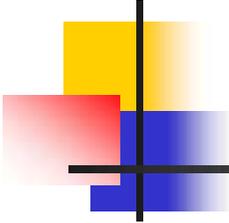
- 3地域とも、和音のSTが福祉センターに勤務
- STが行政に働きかけた
- 行政が主催し、区（市）民対象に実施
- 和音の講座に準拠

人口

板橋区(53万人):平成14年～ 45名養成

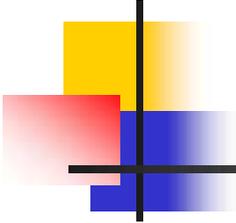
武蔵野市(13万人):平成16年～ 24名養成

世田谷区(86万人):平成17年～ 15名養成



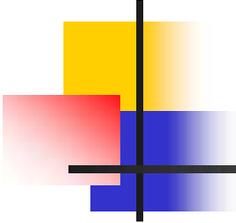
高知県

- 県士会の事業として推進
- 平成17年度：失語症会話パートナー指導者養成講座（ST対象）
- 平成18年度：福祉・医療職のための失語症会話パートナー養成講座（一日コース、27名）
- 平成19年度：同様のコースを2ヶ所で
- 平成20年度： // 4ヶ所で



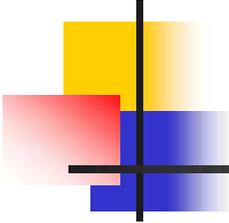
受講後アンケート調査

- 役立っている：9割
- 役立っている内容： 基礎知識 当事者とのグループワーク
- コミュニケーションへの考え方の変化：
 1. 相手の表情や動作を見るようになった
 2. ゆっくり声かけするようになった
 3. 質問の仕方を工夫するようになった



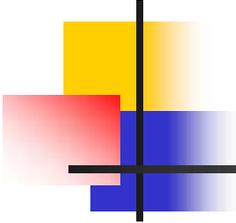
今後の課題

- 開催回数・地域の拡大
- 養成指導者のスキルアップ
- 失語症者をサポートする場の提供
- 受講者への継続的フォロー
- 家族や一般の人対象の講座も検討



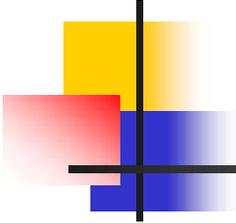
静岡県

- 県士会の事業として推進
- 和音講師の講演後、2年かけて準備
- ST約20名が参加
- 静岡版テキスト作成・指導方法の検討
- 平成20年9月～21年2月 医療職・介護職対象に開講予定 受講者16名
- 3時間×7回（うち失語症者との実習2回）
- 軌道に乗れば一般ボランティア養成・家族向け講座も



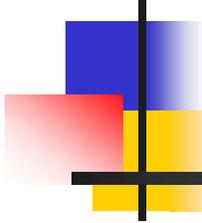
長野県

- 長野赤十字病院の林耕司先生が長年に亘り独自に会話ボランティアを養成
- 毎年養成講座開講
- 約20名が受講(うちボラ継続希望は1~3,4名)
- さえずり会(会話、車椅子散歩、書字・音読・復唱の手伝い、メール交換など病院ボラとして)
成人ボラ8名・ST学生ボラ3名
- 言の葉会(友の会の例会手伝い)
ボラ5名



北海道札幌市

- 「北の会」谷川会長からのメッセージ
 - 1 . 札幌市に失語症会話パートナー制度の創設を申し入れた。(札幌市身体障害者福祉協議会を通じて) 他都市の実施状況を参考にしながら、検討したいとの返事
 - 2 . 札幌地区10区の民生委員連絡町内会で失語症の困難さと会話パートナーの必要性を訴えた。



質疑応答・討論に移りましょう！

活発な意見交換を